

兵庫県保険医協会・新春政策研究会のご案内

ポストコロナ社会をどうつくるか

～『武器としての「資本論」』から考える～



撮影者:梅谷秀司

日時 1月9日(土) 16時~17時30分

会場 兵庫県保険医協会会議室

講師 白井 聡 先生

(京都精華大学人文学部専任講師)

医療費抑制政策のために病床不足や医師・保健師不足が深刻となるなど、新型コロナウイルスの感染拡大は日本社会の様々な歪みを明らかにしました。

これらの問題はなぜ起こるのか。4月に刊行された『武器としての「資本論」』が話題の白井聡先生に、現代の社会の構造とポストコロナ社会をどう展望するのかについてお話いただきます。

今回はオンラインでの聴講も受け付けます。貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

*この件に関するお問い合わせは、
協会事務局 Tel. 078-393-1807 (担当:平田・小西) まで

【講師ご略歴】政治学、社会思想研究者。早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程単位修得退学。博士(社会学)。3.11を基点に日本現代史を論じた『永続敗戦論—戦後日本の核心』(太田出版)により、第4回いける本大賞、第35回石橋湛山賞、第12回角川財団学芸賞を受賞

来場参加お申し込み【FAX078-393-1820】

切り取らずに必要な事項をご記入の上ご返信ください

地区	お名前

オンライン(ZOOM利用)による参加お申し込み

「ZOOM」によりご自宅や医療機関等からご視聴いただけます。ご希望の方は、件名を「1/9 政策研究会申込」として、①お名前、②医療機関名、③電話番号、④E-mail アドレスを konishi-s@doc-net.or.jp までご連絡ください。事前にミーティングIDやパスワード、資料をメールでお送りします。

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

342号

2020年12月15日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

支部研究会 感想文

新型コロナウイルス検査の 種類と特徴を具体的に検討



郷地先生がコロナ対策の現状と問題点などを指摘。ZOOMで配信を行った

神戸支部は11月7日、協会会議室で支部研究会「一般診療所で新型コロナ感染とどう向き合うのか?どこまで診れるのか?」を開催。東神戸診療所(中央区)所長の郷地秀夫先生が講演し、会場とオンライン合わせて、医師ら46人が参加した。司会を務めた高橋知三郎先生の感想を紹介する。

保険医協会神戸支部研究会「一般診療所で新型コロナ感染とどう向き合うのか?」に参加させていただきました。前東神戸病院院長で東神戸診療所所長の郷地秀夫先生によるご講演でした。

(2面に続く)

(1面の続き)

はじめに急拡大する世界での新型コロナ感染の現状を示され、それがもたらす差別と分断の広がり、経済への影響と弱者へのしわ寄せ、中国の台頭についてお話しされました。その後、日本での状況とコロナ対策の現状と問題点を示され、患者さん、職員、地域を守るためにも検査体制の充実の必要性を訴えられました。検査のために先生は、自院を発熱外来可能につくり改築されたとのこと。

＜当院の新型コロナ対応策の3つの基本方針＞

- 1) 患者さんを守る 断らない発熱外来
新型コロナ PCR、抗体検査を行う
- 2) 職員を守る；医療者が院内感染を起こさないよう対策、準備する
- 3) 地域、医療機関、福祉施設と連携、貢献していく

東神戸診療所でのコロナ対策の基本方針（講演スライドより）

そして検体採取、PCR検査可能にするための具体的な取り組みについて示され、抗原検査の種類と特徴、抗体検査の種類と意義についても、大変具体的にお教えいただきました。タイトルに一般診療所とありますが、発熱外来のために施設改造を行い、自院でPCR検査を行える体制を整えようとしており、私たちのような町の小さな診療所とは規模も体制も異なるものですが、検体採取の方法や検査法、検査試薬の違いについても詳細に検討されており、大変に勉強になりました。

今後も、しばらくは新型コロナ感染と向き合い続けなければなりません、それぞれの医療機関でできることを考える良い機会となったと思います。ご講演いただきました郷地先生、ありがとうございました。

【垂水区 高橋 知三郎】

企画のご案内

阪神・淡路大震災から26年 2021.1.17 メモリアル

ひと・街・くらし 長田のつどい

日時：2021年1月17日(日)

9時30分～11時30分

会場：長田「ふたば学舎」

(長田区二葉町7丁目1番18号)

内容：東日本大震災から10年 被災3県からの報告(リモート開催予定)、トランペット演奏など

主催：震災復興長田の会・2020 長田1.17メモリアル実行委員会

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年行ってきた「長田ウォーク」は中止します。また感染状況によっては「つどい」も中止となる場合があります。参加にあたっては、マスクの着用をお願いいたします。

ご参加のお申し込みは、☎078-393-1807 小西まで



過去の「つどい」の様子

院内感染対策研修会「外来での感染予防対策」感想文

院内感染防止のポイント 実践交えて学んだ



小川氏(左)を講師に防護具の正しい取り扱い方など実践的に学んだ

神戸支部は11月21日に院内感染対策研修会を協会会議室で開催し、会員・職員ら29人が参加した。済生会兵庫県病院感染管理認定看護師の小川麻由美氏が「外来での感染予防対策～新型コロナウイルス、インフルエンザの流行に備えて～」をテーマに講演した。司会を務めた林宏明先生の感想文を紹介する。

現在も猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症の疫学情報、特徴から感染経路、なかでも感染対策の確認について重点を置いてご説明をいただきました。病院内での標準予防策、正しい手指衛生の方法に関する説明の後に、防護服の取り扱い、外来でのゾーニングの取り組み紹介、日常の清掃方法について詳細に説明をしてくださいました。

また、受講者とともに、実際に適切な防護服の着脱を行いました。手袋の適切な装着や外し方、マスク装着、ガウンやディスポエプロンの着脱について実践によるトレーニングを受けました。

さらに、院内感染を起こさないための取り組み、職員の健康管理、職場での注意点にも言及していただき、受講者の施設でも感染予防策に取り組んでいかれるのではないかと思います。最後に、施設内での事前対策についても触れていただき、今の時期に有益な講演内容を拝聴することができました。

【中央区 林 宏明】